

■活動紹介シート

名称	若年性認知症サロン				
事務局 連絡先	住所	〒651-1512 兵庫県 神戸市北区長尾町上津 4663-3		事務局	青い空の郷
	TEL	078-986-3711	FAX	078-986-1122	
	E-mail	ot@aisoranosato.kita.kobe.jp			
	HP	http://www.aisoranosato.com			

【活動内容】

●若年性認知症サロン

開催日：原則第1土曜日

開催時間：13:00～15:00

場所：古民家「おくっちょ」※青い空の郷から5分くらい（施設から送迎あり）

目的：知識の習得、医療・介護に関する相談、制度活用についての相談
課題状況の共有、ピアカウンセリングなど

参加費：無料

参加方法：直接、電話でお問い合わせ下さい。（月曜日～土曜日 9:00～17:00）

青い空の郷では、月に1回サロンを実施しています。

立ち上げ当初のサロンの目的は、若年の方が集える場を作ることでした。しかし、現在は、常にコロナの感染拡大防止を考慮しなければならなくなったことで、時間を限定した『家族支援』を実施しています。

ご家族は、お互いの実体験に基づく介護上での喜びや辛さなどの気持ちを共感する場、制度の活用法の話や、介護の知恵など情報交換の場として、有益な時間となっています。また、結果的にこのような取り組みが、当事者支援にもつながると考えています。

サロン以外でも必要に応じて、個別に電話相談や医療機関などの情報提供を実施しています。活動内容の様子は、下記のホームページをご覧ください。

お気軽にお問い合わせください。
よろしく願い致します。

※青い空の郷 ホームページ (<http://www.aisoranosato.com>)

●若年性認知症デイケア

開催日：毎週火曜日、木曜日、土曜日

開催時間：10:00～16:15

場 所：青い空の郷 デイケア室

参加費：介護保険のご利用となります（介護認定を受けている方が対象となります）

参加方法：直接、電話でお問い合わせ下さい。（月曜日～土曜日 9:00～17:00）

対象者：認知症の症状が、初期から中等度の若年性認知症の方

送迎について：車で往復1時間以内のエリアの方は、送迎バスをご利用いただけます。

エリア以外の方は、公共交通手段などでお越し下さい。（応相談）

青い空の郷のデイケアにて、毎週火・木・土曜日に若年性認知症デイケアを実施しています。認知症の症状が、初期から中等度の若年の方に特化したプログラムを提供いたしております。

例えば、サッカーやギターの弾き語りなど、高齢者では全くないようなニーズに対応したプログラムを提供しています。

「若年性認知症デイケア」は、認知症の症状が初期から中等度の方を対象に、社会の中でご本人様が役割を持ち、自分らしく生きていくための支援や仲間づくりの場所を提供していく取り組みを行っています。高齢者向けのサービスと違って、若年性認知症に特化したプログラム運営を目指し、若年性認知症の方のニーズにお応えできるよう努めています。

【若年性認知症デイケアの一日】☆活動内容については、ご利用者と一緒に決めていきます

①送迎（往復1時間圏内の方）

②健康チェック

可能な方は、ご本人がノートに自分で記入する（血圧、体温など）

③朝の会

ホワイトボードを見ながら、参加者紹介、今日の予定の相談と確認

④軽体操、園芸など

⑤昼食

一緒に準備する（テーブル拭き、配膳など）

⑥リハビリスタッフによる個別リハビリテーションを提供

個別のニーズに合わせ、ギター演奏、コグニサイズなど

⑦主活動（個別、小集団）

将棋、オセロなどゲーム的な要素の活動

カラオケ、歌活動など小集団による楽しみの活動

サッカー、卓球などのスポーツ活動など

⑧当日の活動写真をスクラップブックに貼り、一日を振り返る

⑨終りの会

感想を述べ合い、次の予定など相談する

【活動の様子】

●若年性認知症サロン（2024年6月 施設HP ブログより）

去る、6月1日（土）に『古民家おくっちょ』にて、若年性認知症サロンを実施しました。当日は、7人の方の参加がありました。

今回は、情報交換の中で印象に残った内容をお伝えしたいと思います。

質問 Q. 「これからこんなこと（進行していくと）あるから準備しておくことや知っておくと良いことなど知りたい」

Aさん → 気を抜けるところは抜く。介護は初期から頑張りすぎるとしんどくなる。認知症にも個人差がある。次々に進行してくる中でリフォームも実施したが、今思うと、ほとんど失敗だったな～と。

質問 Q. 「ネットとか調べることができるが、知識を持つことでしんどくなることはないですか？」

Bさん → 介護＝手抜き。介護者がいっぱいいっぱいなことは本人にも伝わってしまう。余裕を持つことが大切。情報は持っていればいいが、心配し過ぎない。自分がパニックにならないような準備をすることは必要。

Aさん → 何のために手を抜くのかということ。「本人の前で笑顔でいるため」。ちょっとした笑顔や目が合うことだけでも嬉しく思える。

質問 Q. 「配偶者が亡くなったらどうするか？など考えていますか？」 「一人になった時の準備は？」

Aさん → 夫が施設に入っただけでも「寂しいよ～」 「悲しいよ～」

Bさん → なるべく施設に入れたくない。そこに居るだけで嬉しい。いなくなると寂しい。ショートステイでいないだけでも寂しく思う時もある。お金の管理とかは大事だが、その他はついてくる。

Cさん → 3年くらい先くらいのイメージで準備していけばいいのではないかな。先のことなんて分からないし、自分が先に死ぬかも分からない。

Dさん → 今をいかに生きるかではないか！



【メッセージ】

ご本人、家族、スタッフ、みんなが“参加者の一人である”ことを大切にしています！

社会参加、仲間作り、語り合う場が、ここにはあります！

お気軽に！来て、見て、体感して下さい！